

第1回SIP包摂的コミュニティプラットホームシンポジウム
認知症基本法と地域包括ケアで築く包摂的な地域社会
ー暮らしとお金の見守りを中心にー

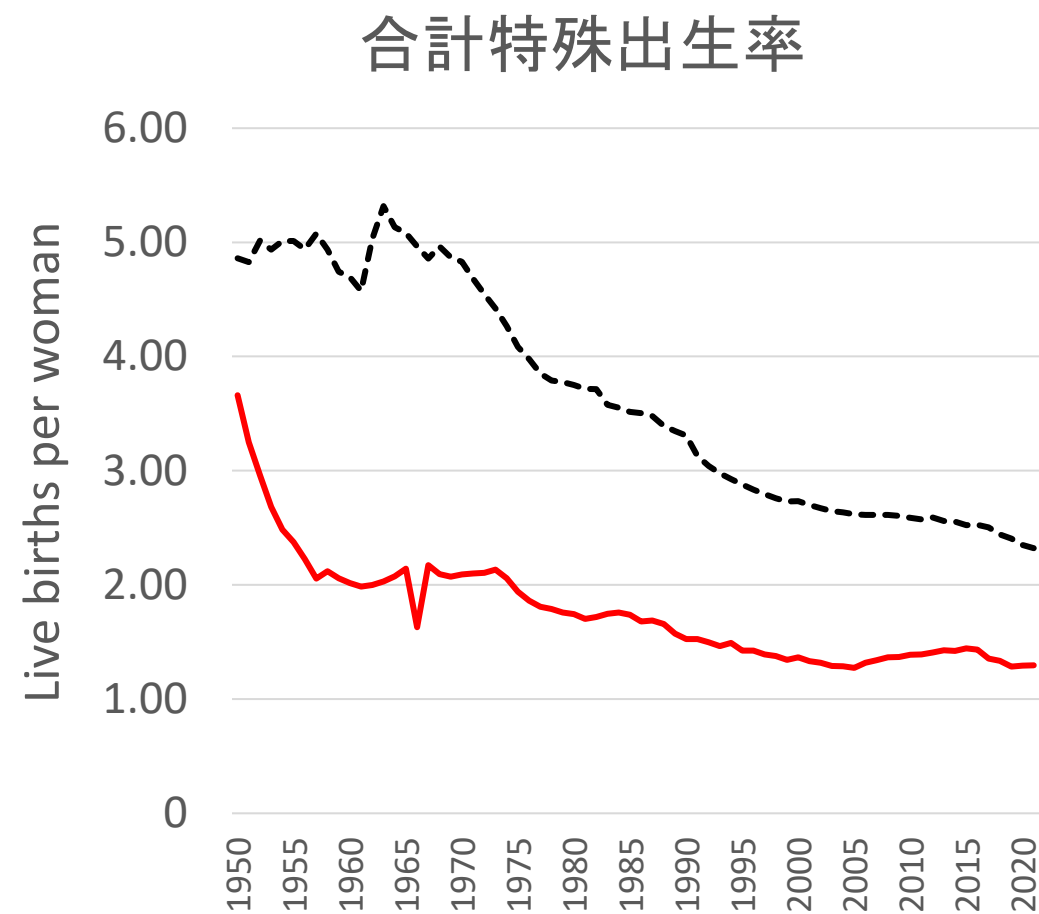
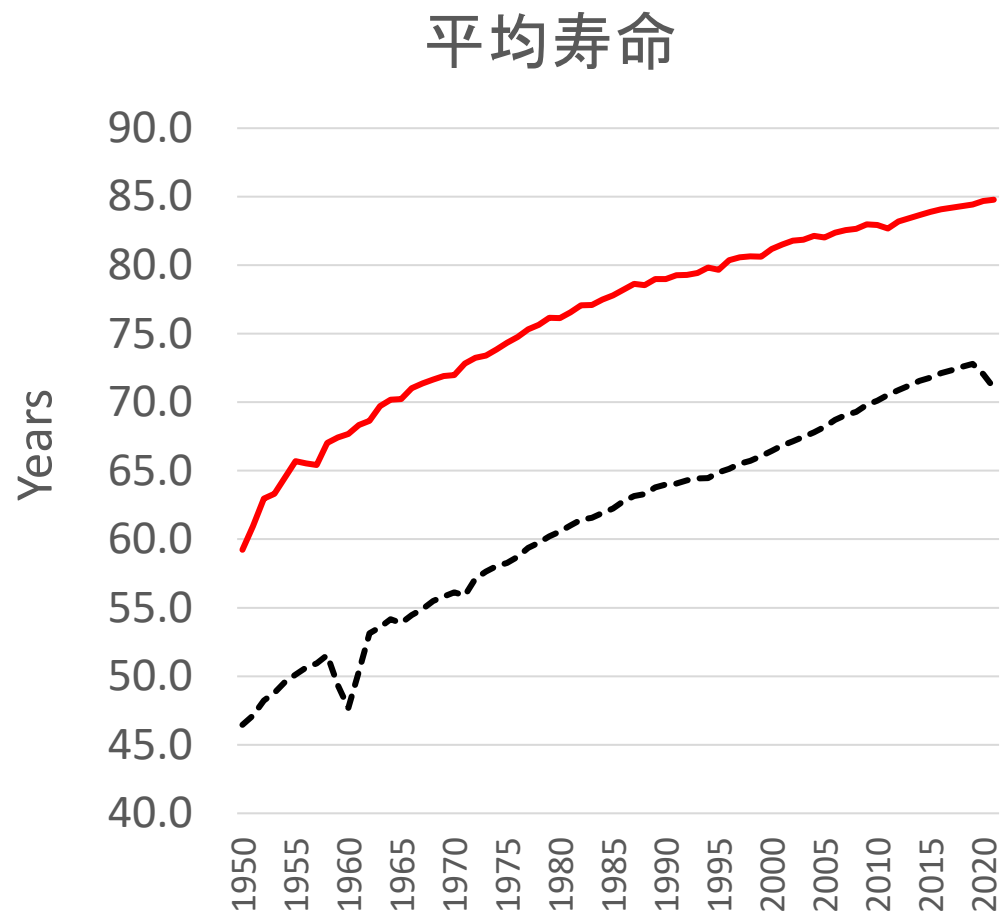
基調報告

東京都健康長寿医療センター・認知症未来社会創造センター

栗田 圭一

平均寿命と合計特殊出生率の推移（日本と世界の比較）

(Source: UN World Population Prospect 2022)

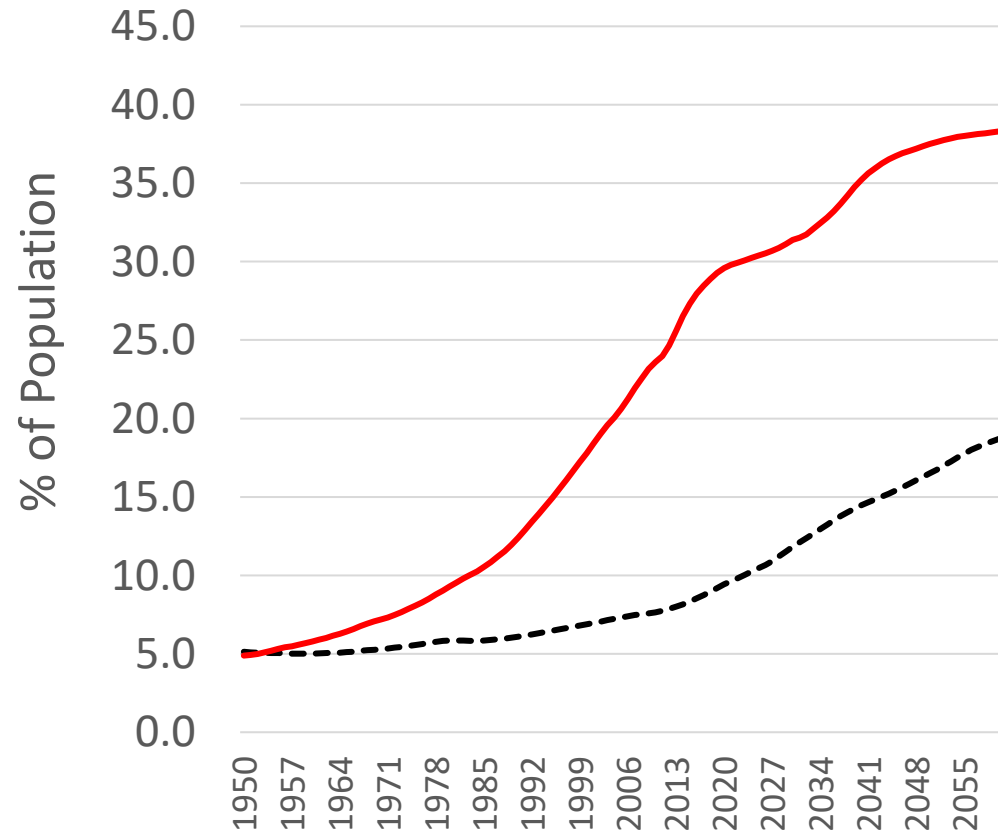


— Japan - - - World

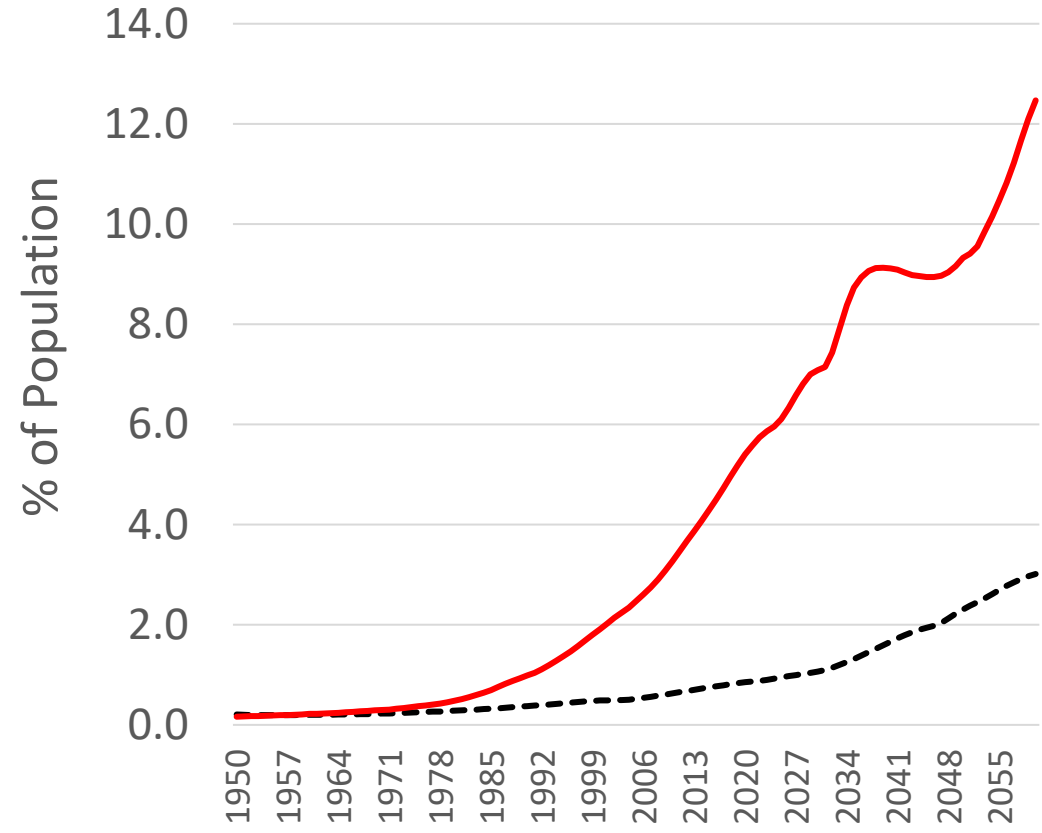
高齢化率の推移と将来推計：日本と世界の比較

(Source: UN World Population Prospect 2022)

65歳以上高齢者の割合



85歳以上高齢者の割合

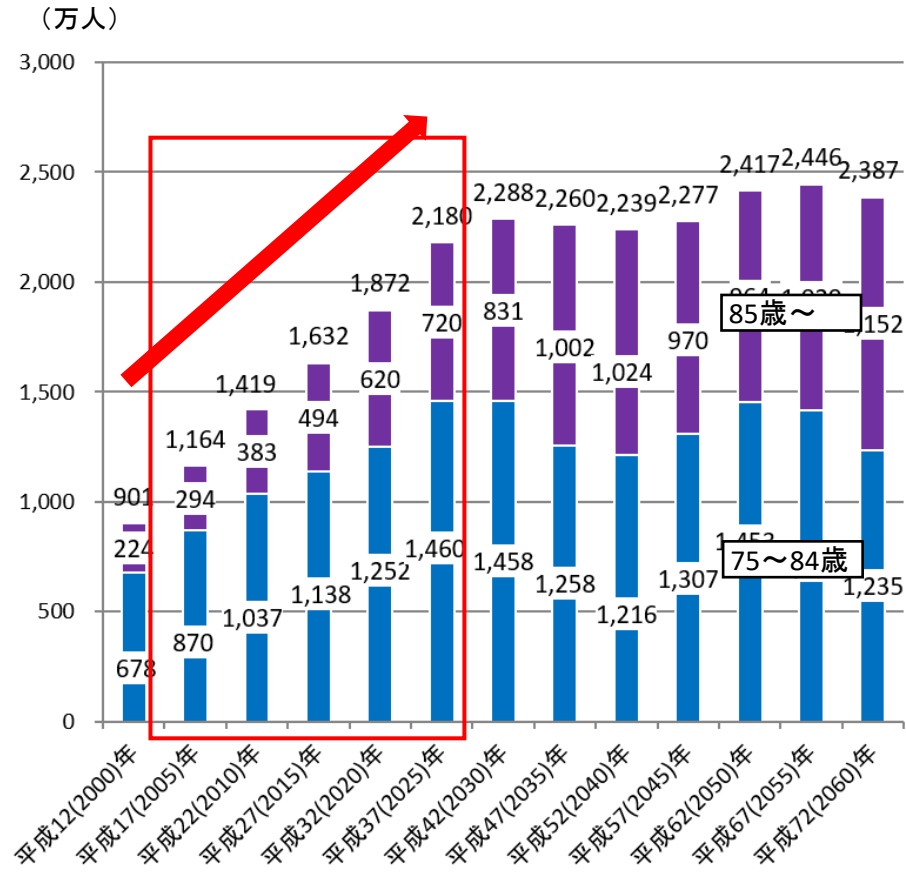


— Japan - - - World

75歳以上人口と85歳以上人口の推移と将来推計

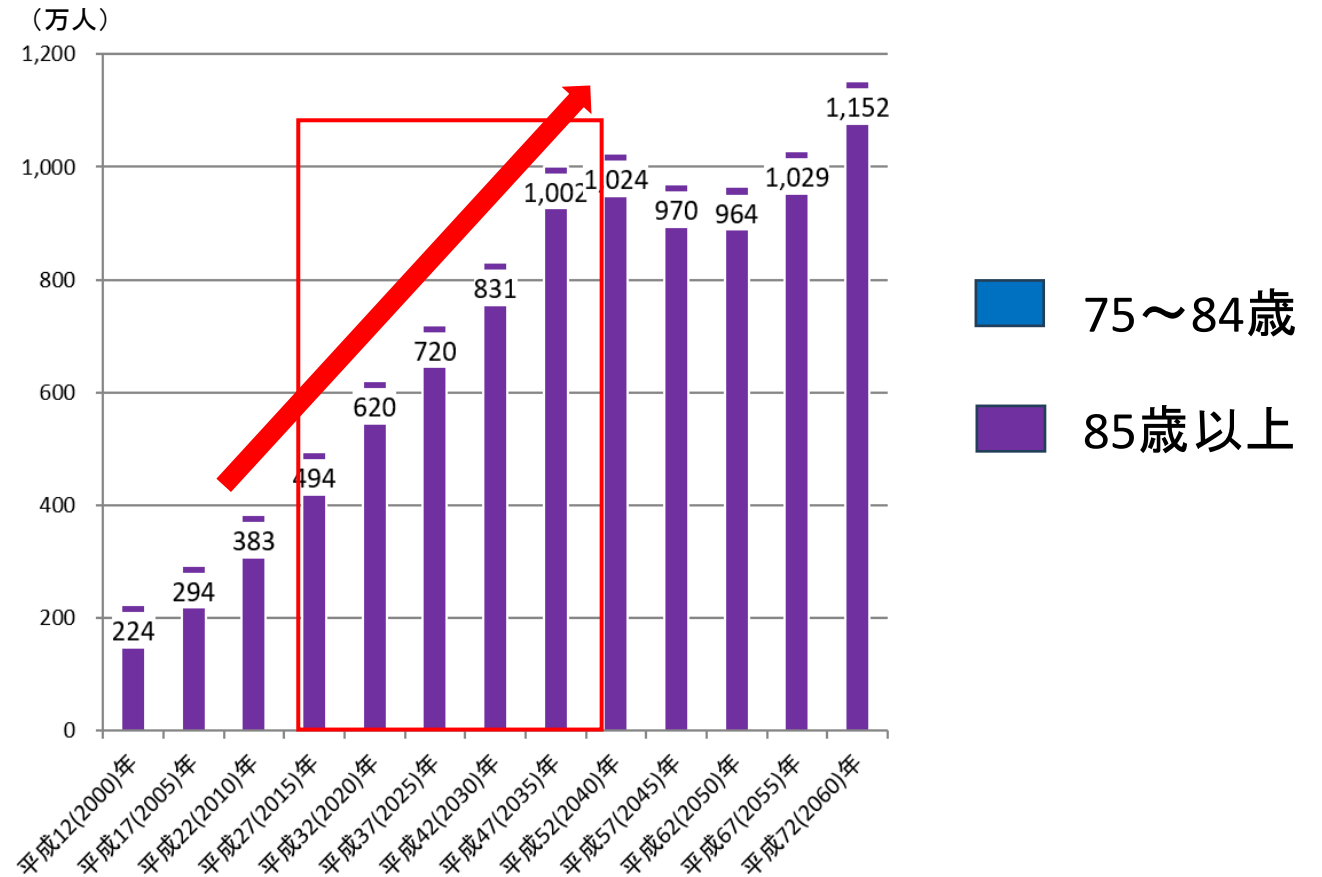
75歳以上の人口の推移

○75歳以上人口は、介護保険創設の2000年以降、急速に増加してきたが、2025年までの10年間も、急速に増加。



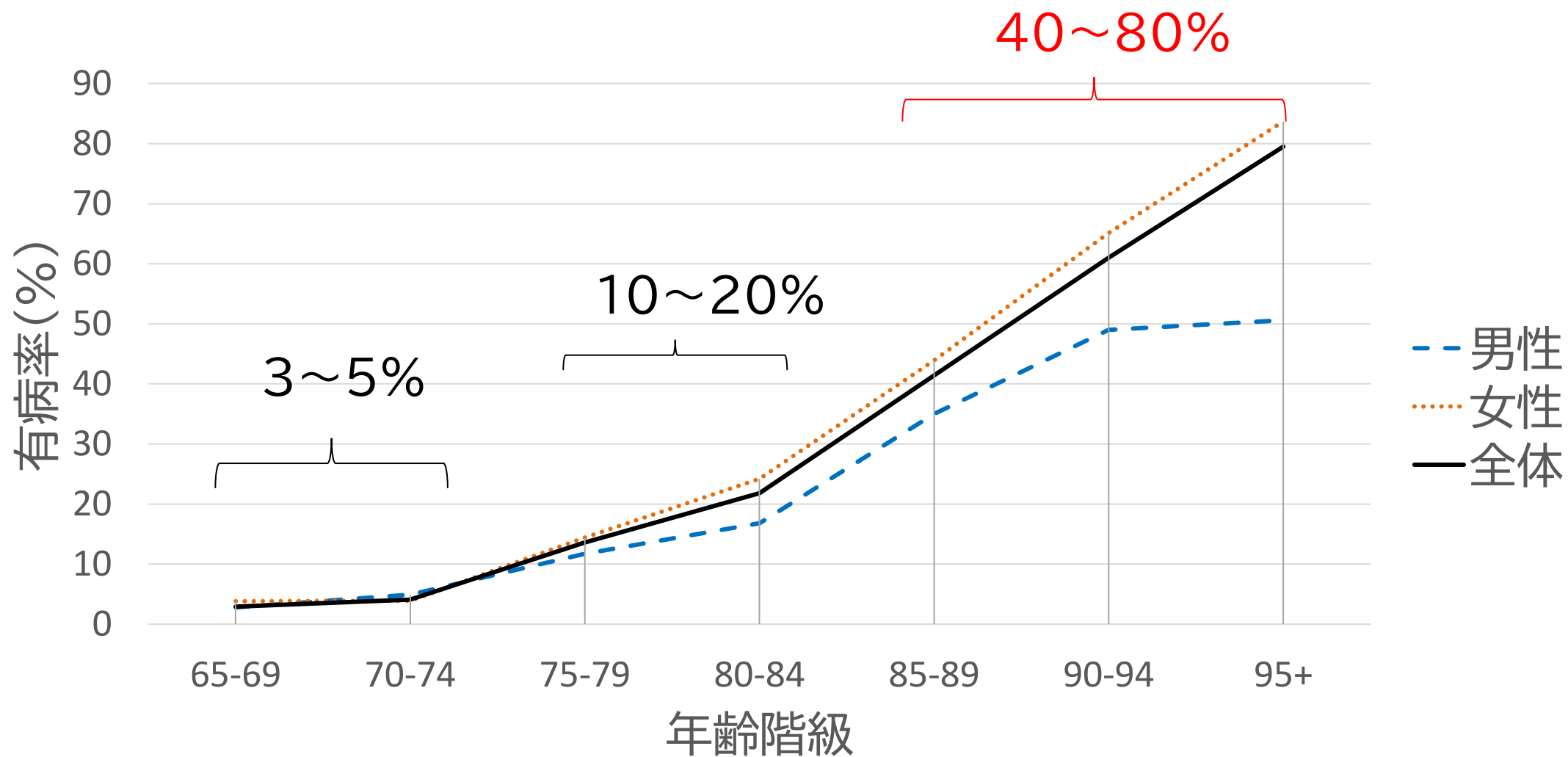
85歳以上の人口の推移

○85歳以上の人口は、2015年から2025年までの10年間、75歳以上人口を上回る勢いで増加し、2035年頃まで一貫して増加。



(資料)将来推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成29年4月推計)出生中位(死亡中位)推計実績は、総務省統計局「国勢調査」(国籍・年齢不詳人口を按分補正した人口)

高齢者における認知症の年齢階級別有病率



朝田隆:都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応.平成24年度厚生労働科学研究費補助金認知症対策総合研究事業(研究代表者朝田隆)報告書より作成

認知症の概念

- 認知症



大脳に病的変化をもたらすさまざまな疾患

- 変性疾患

- アルツハイマー病
- レビー小体病
- 前頭側頭型葉変性症
- 進行性核上性麻痺
- 大脳皮質基底核変性症
- 嗜銀顆粒病
- 神経原線維優位型認知症
- パーキンソン病
- 神経核内封入体病
- ハンチントン病

- 脳血管障害

- 多発性脳梗塞
- 小血管病
- 脳出血

- 外傷

- 脳挫傷
- 慢性硬膜下血腫

- 物質・医薬品関連障害

- アルコール関連障害
- 薬物依存症候群
- 一酸化炭素中毒

- 内分泌・代謝性疾患

- 甲状腺機能低下症
- ビタミン欠乏症
- 糖尿病
- ウイルソン病
- 低酸素脳症
- ミトコンドリア脳筋症
- 肝性脳症

- 腫瘍

- 原発性脳腫瘍
- 転移性脳腫瘍

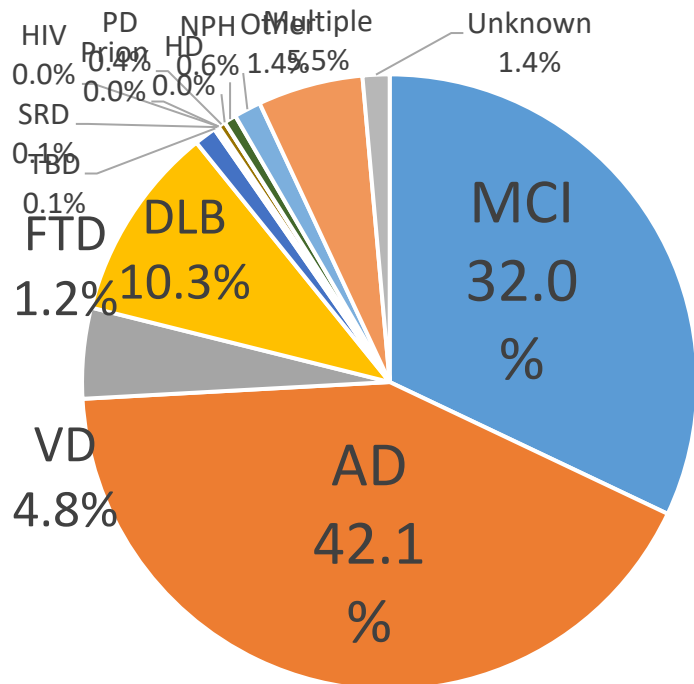
- 感染症

- 脳炎, 髄膜炎
- 神経梅毒
- HIV感染症
- プリオン病
- 脳寄生虫

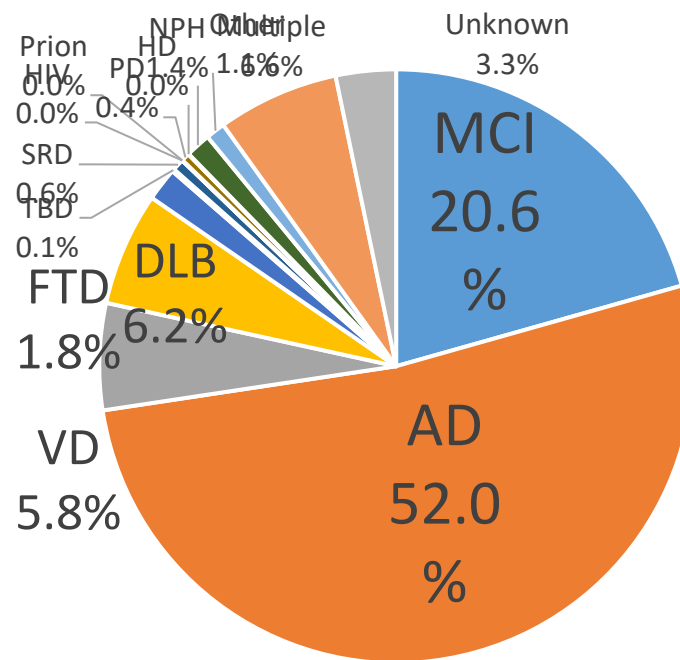
- その他

- 正常圧水頭症
- てんかん
- 多発性硬化症
- ベーチェット病
- サルコイドーシス
- シェーグレン症候群

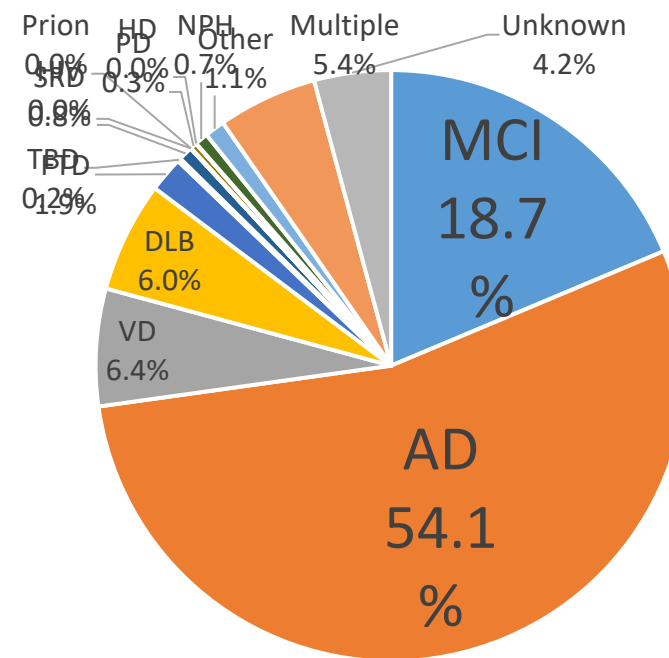
認知症関連疾患の診断名別割合



東京都健康長寿医療センター
(2021年度: N=777)



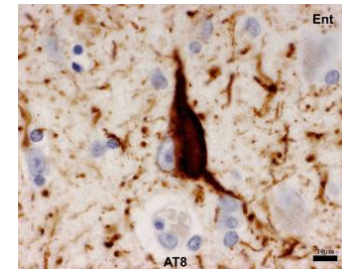
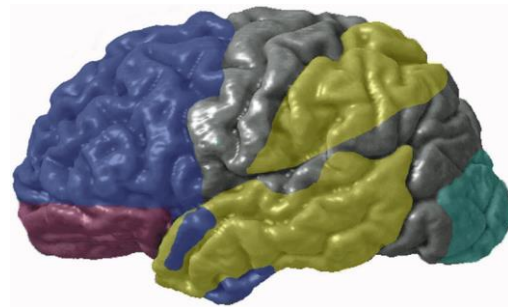
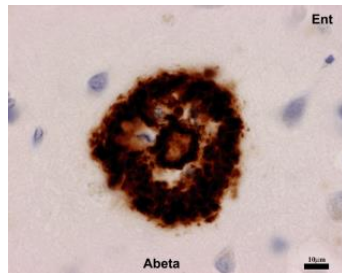
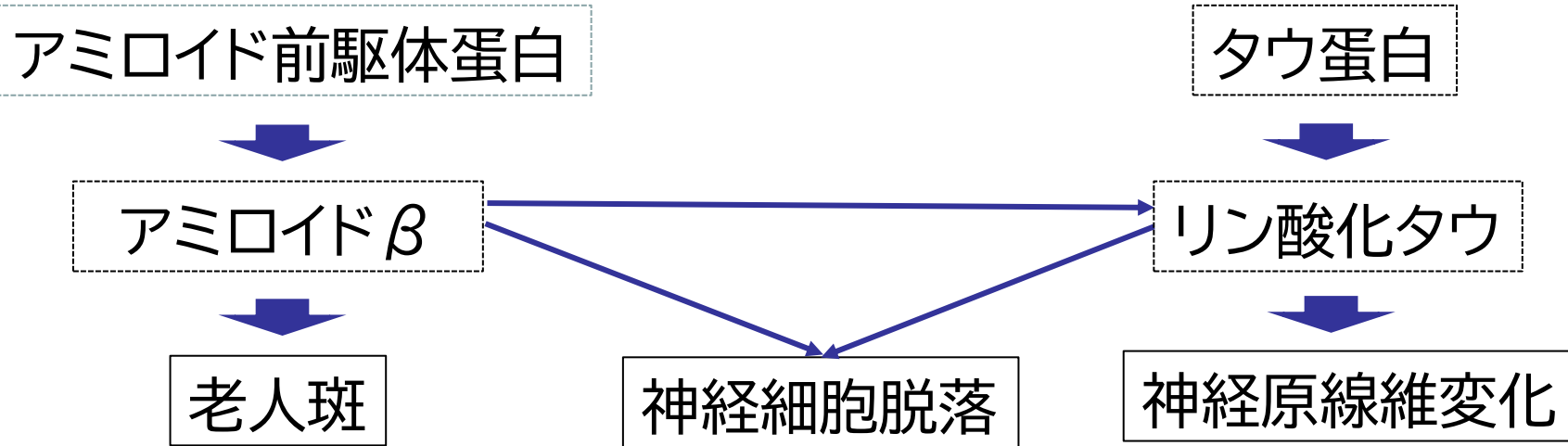
東京都内の53センターの計
(2021年度: N=12,855)



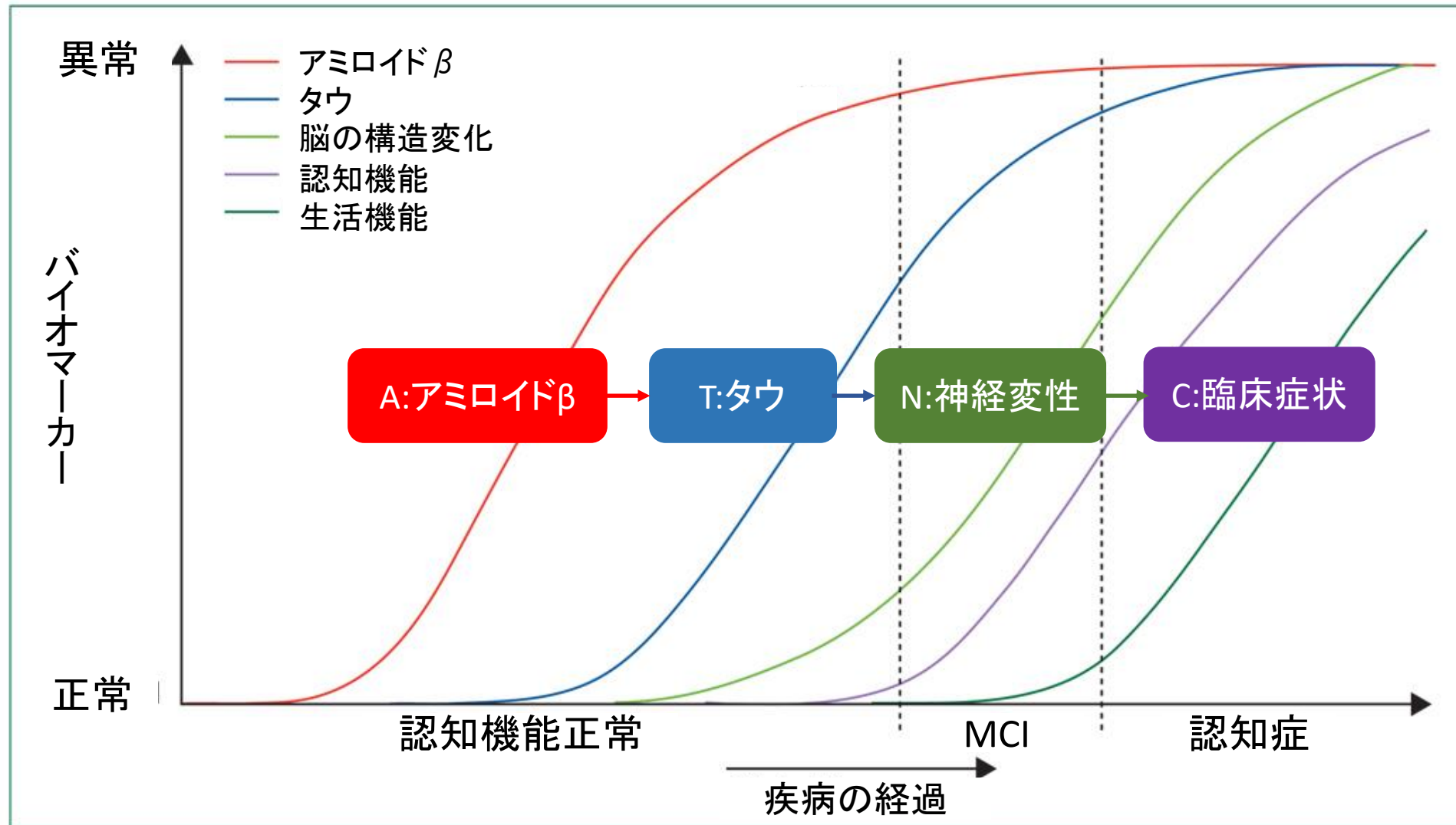
全国の488センターの計
(2021年度: N=100,058)

アルツハイマー病

アルツハイマー病は、大脳に老人斑や神経原線維変化が現れ、神経細胞が脱落する神経変性疾患。

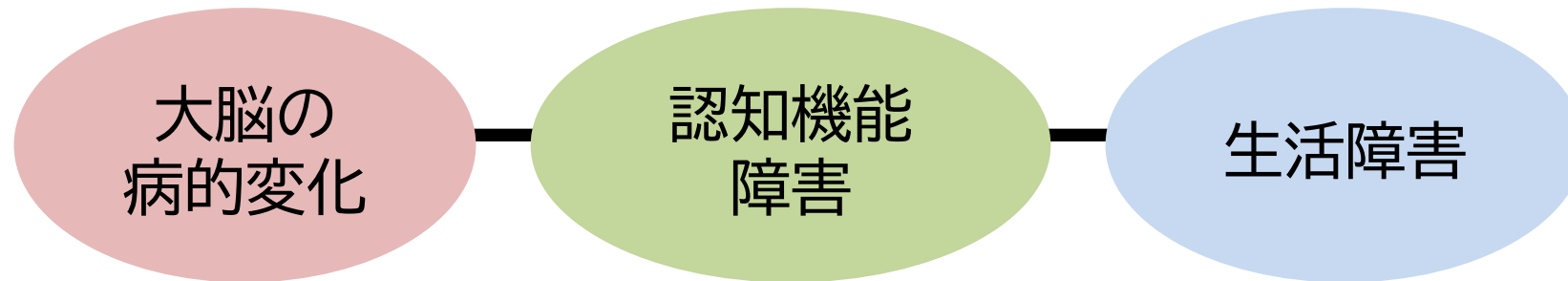


アルツハイマー病理カスケードのバイオマーカーモデル

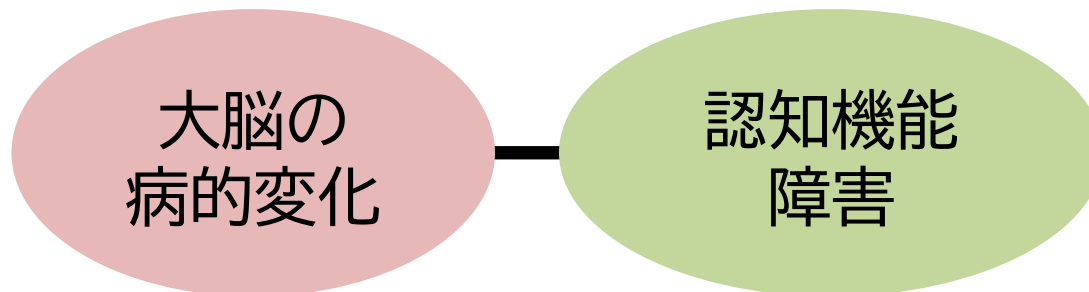


認知症と軽度認知障害(MCI)の概念

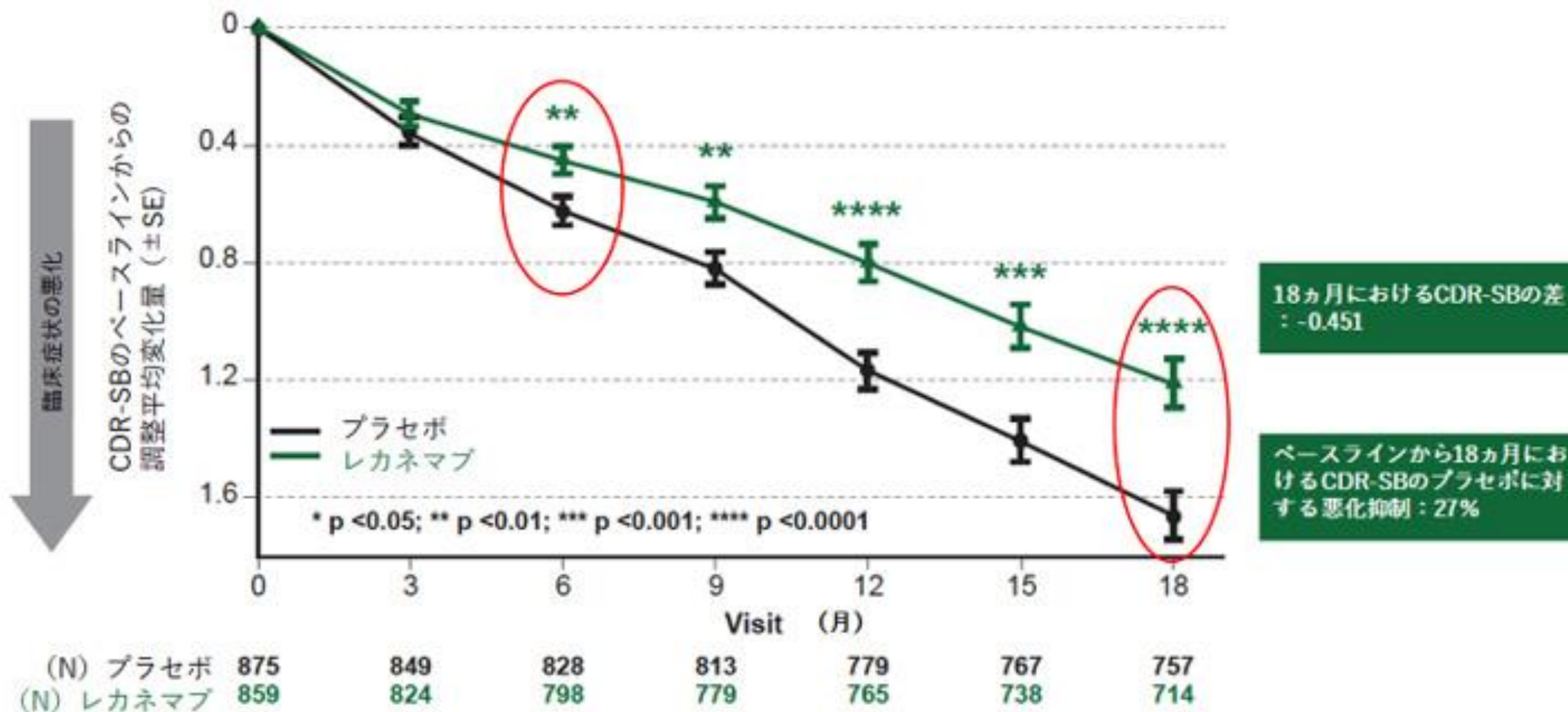
- 認知症



- 軽度認知障害(MCI)



抗Aβ抗体薬(レカネマブ)の第3相試験の結果



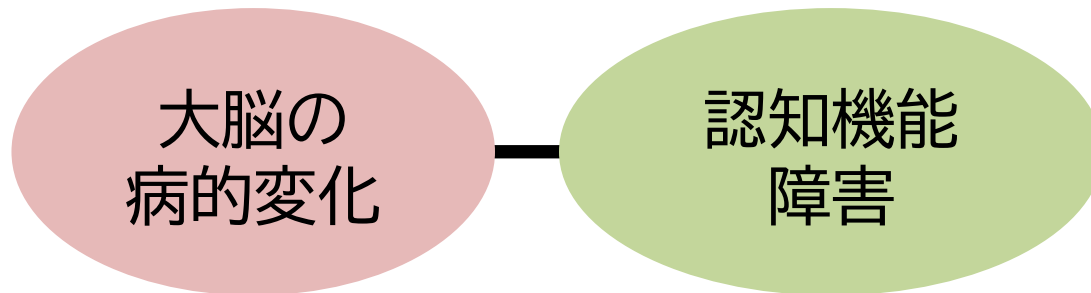
認知症と軽度認知障害(MCI)の概念

- 認知症

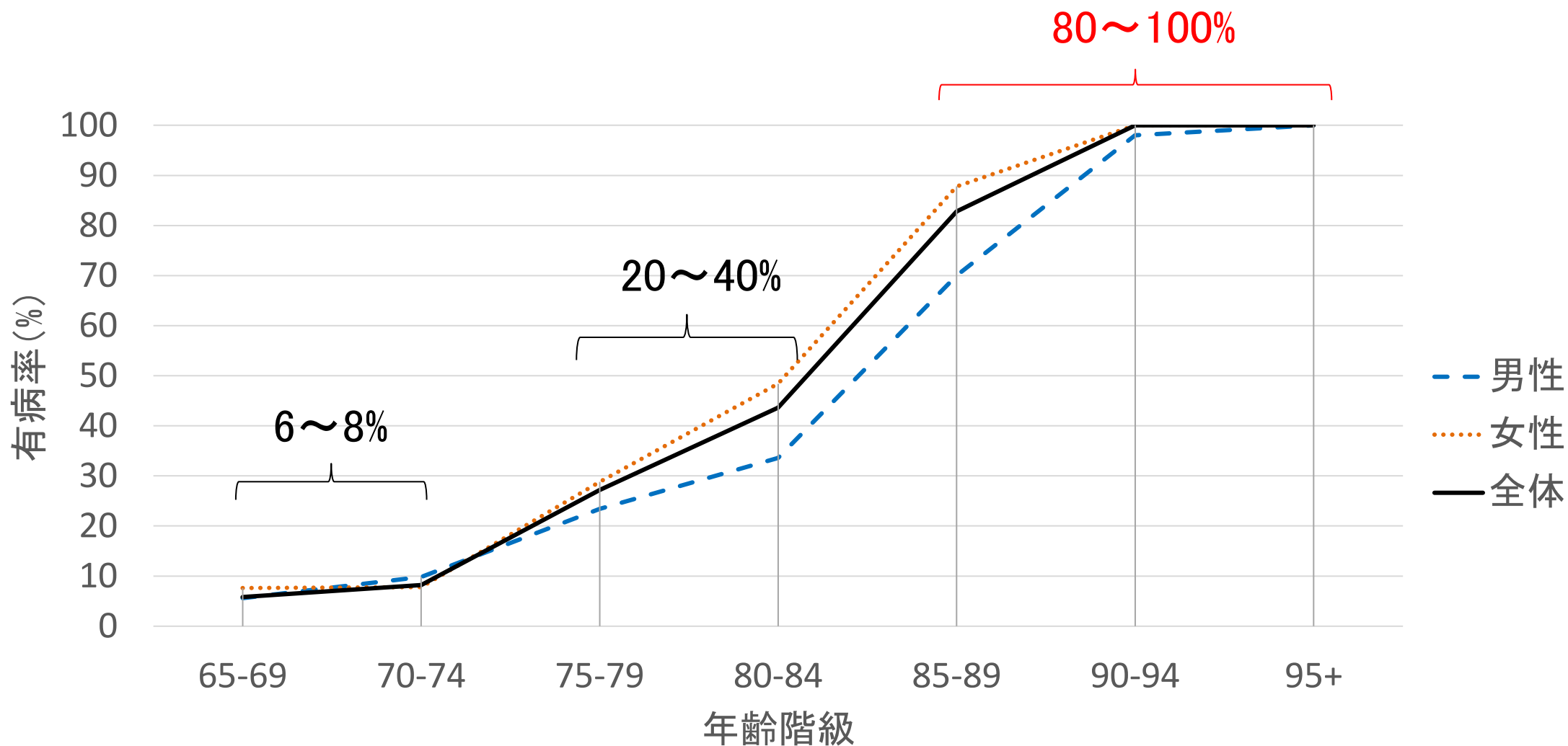


- 軽度認知障害(MCI)

出現頻度は
認知症とほぼ同じ

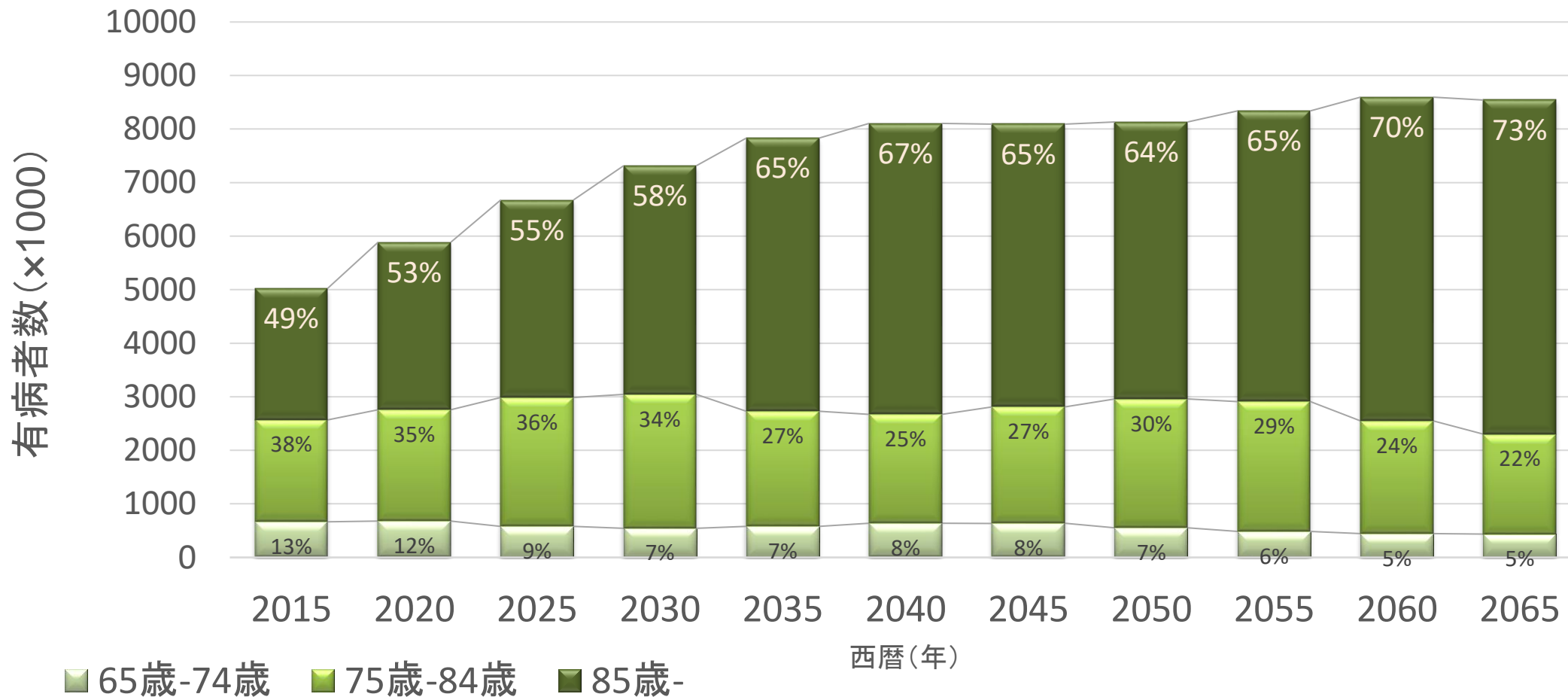


高齢者におけるMCIまたは認知症の年齢階級別有症率のイメージ



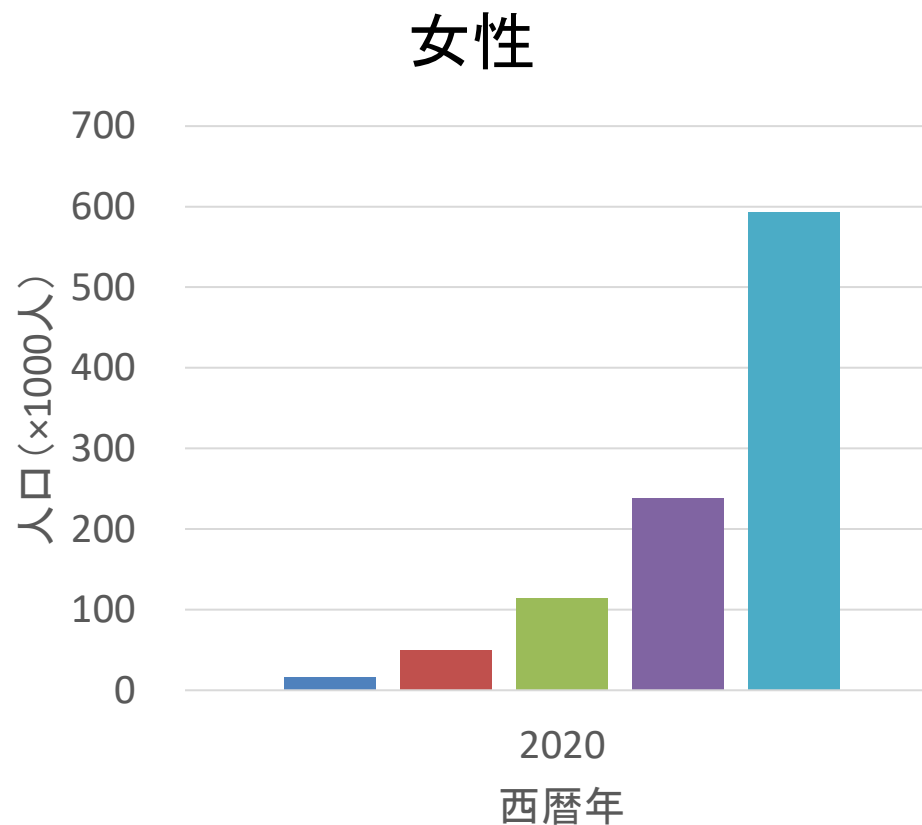
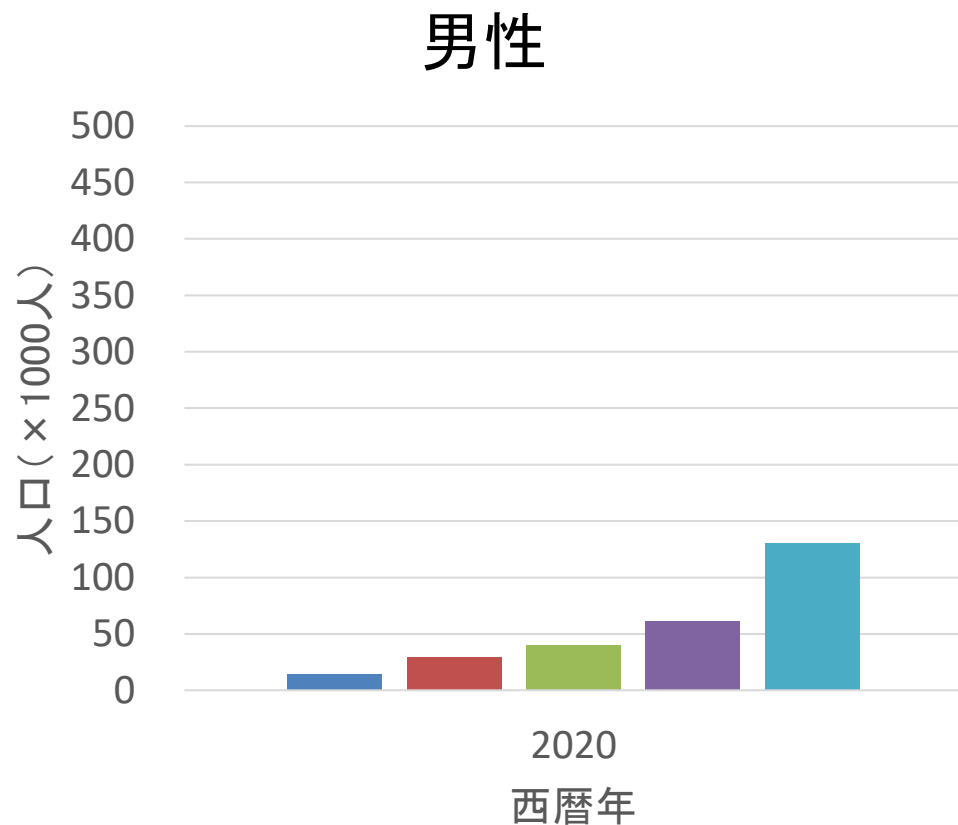
MCIの有症率が認知症の有病率とほぼ同等と見なして作成した。

認知症高齢者数の将来推計と年齢階級別構成比



各年齢層の認知症有病率が一定と仮定し、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)・出生中位(死亡中位)推計」を用いて算出した。栗田：超高齢期の認知症の疫学と社会状況。老年精神医学雑誌30:238-244,2019

性・年齢階級別独居認知症高齢者数

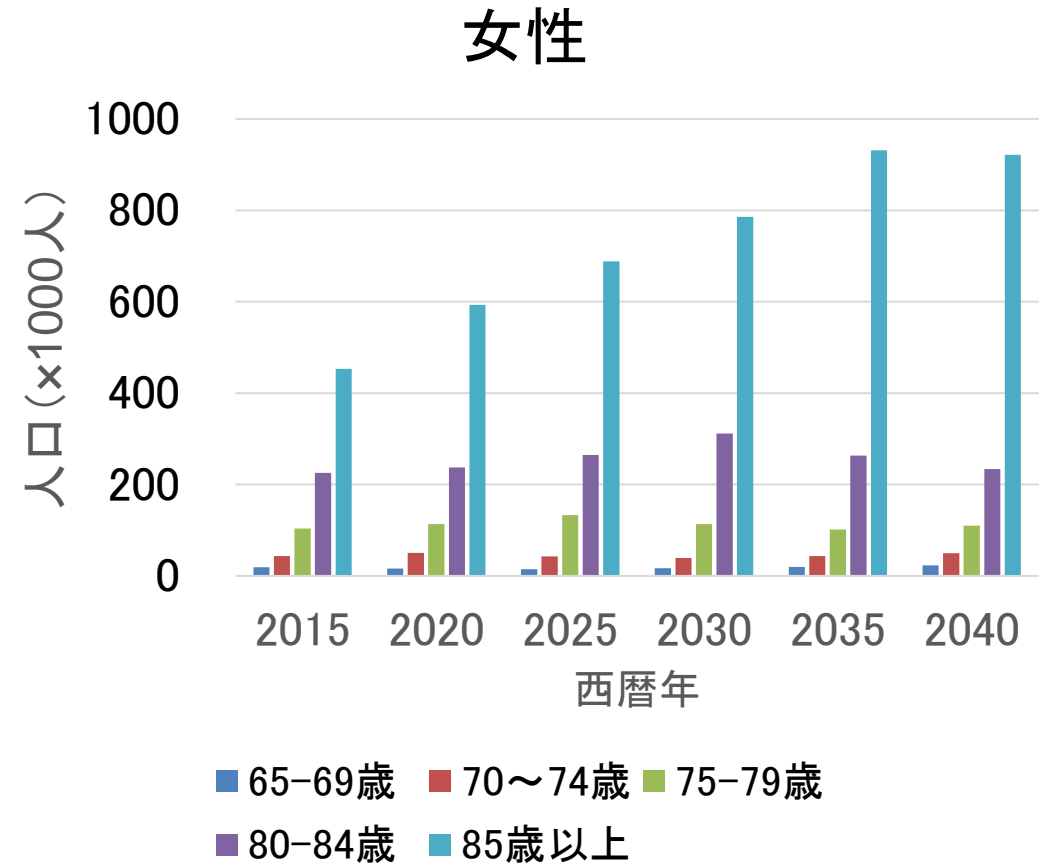
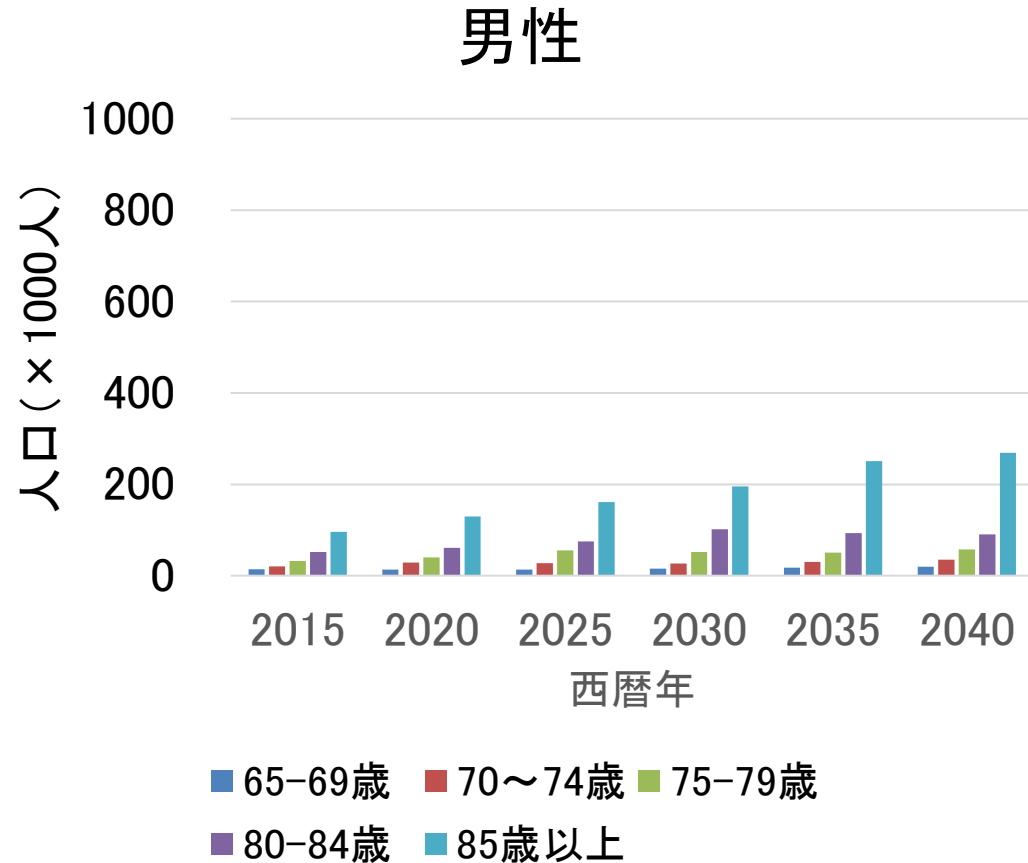


■ 65-69歳 ■ 70～74歳 ■ 75-79歳
■ 80-84歳 ■ 85歳以上

■ 65-69歳 ■ 70～74歳 ■ 75-79歳
■ 80-84歳 ■ 85歳以上

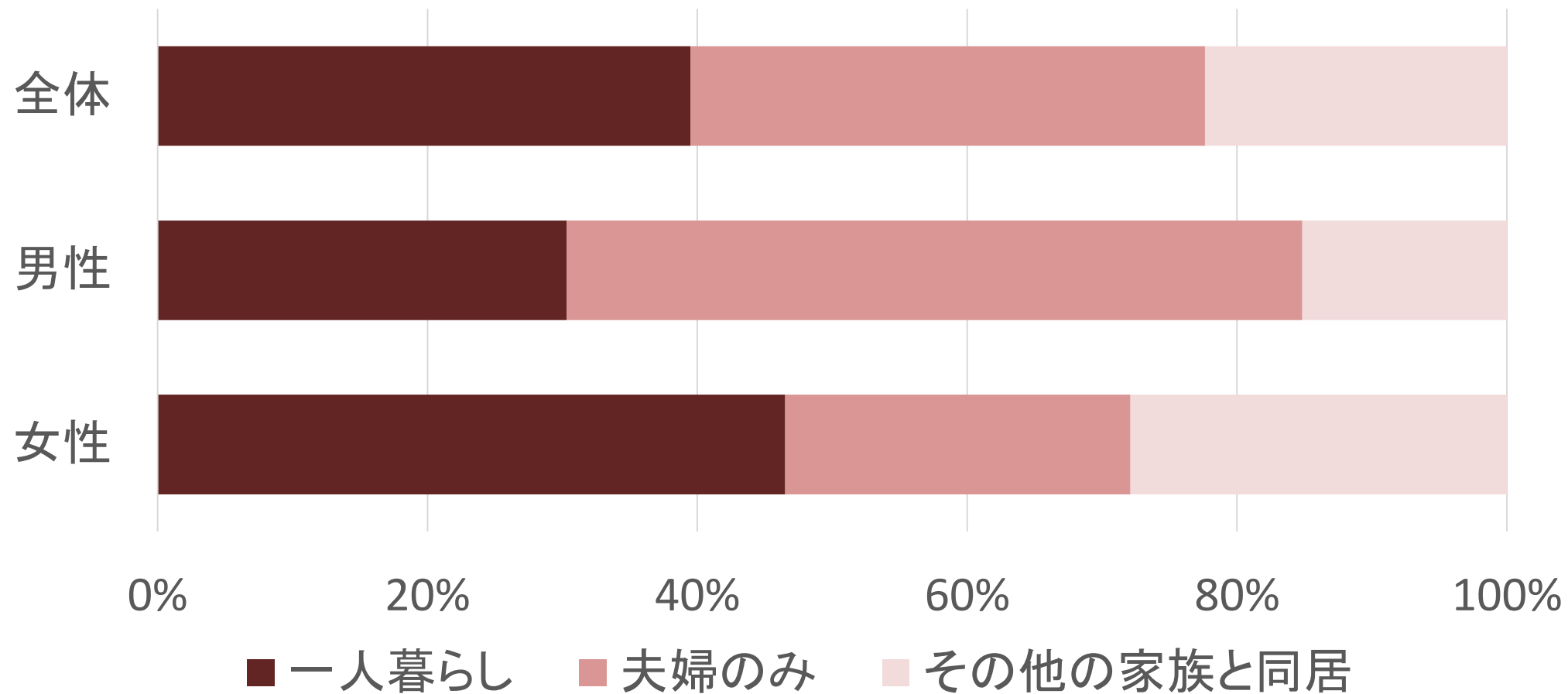
性・年齢階級別認知症有病率と国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」による性・年齢階級別単独世帯高齢者数(2020年)を掛け合わせて算出した. 栗田主一:一人暮らし, 認知症, 社会的孤立. 老年精神医学雑誌31: 451-459, 2020

性・年齢階級別単独世帯認知症高齢者数の将来推計



性・年齢階級別認知症有病率と国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」による性・年齢階級別単独世帯高齢者数(2015年~2040年)を掛け合わせて算出した。栗田主一:一人暮らし, 認知症, 社会的孤立. 老年精神医学雑誌31: 451-459, 2020

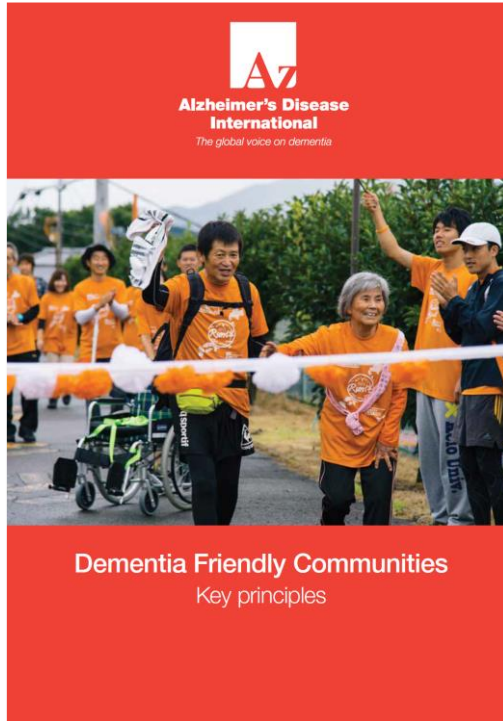
「認知症の状態にある」高齢者の約4割は一人暮らし (女性では約5割が一人暮らし)



N=78

認知症フレンドリー社会

Dementia Friendly Communities



認知症フレンドリー社会とは、認知症である本人と介護者が、力づけられ、支援され、社会に包摂され、その人々の権利が人々に理解され、その人々がもつ力が人々に認識されている場であり、文化である。

2017年

ADI: Alzheimer's Disease International (国際アルツハイマー病協会)
訳: 栗田圭一

認知症フレンドリー社会の基本原則

◆ 人々 (People)

認知症とともに生きる人々を尊重し、尊厳を守り、本人の求めていることを理解するためには、当事者の参画が不可欠である。

◆ 地域 (Community)

認知症に関連する偏見や社会的孤立と戦い、本人のニーズに合った活動やサービスを利用できるようにする必要がある。

◆ 組織・機関 (Organization)

さまざまな組織・機関において、認知症フレンドリーなアプローチを確立する必要がある。

◆ パートナーシップ (Partnership)

個別の組織・機関だけではなく、社会全体を変化させるには、官民連携を含む領域横断的な協働が必要である。

東京都 高齢者の特性を踏まえた
サービス提供のあり方検討会 報告書



高齢者の 認知機能の 特性に配慮した サービス提供

認知症になっても
安心して暮らせる
社会をつくるために

高齢者の認知機能の特性 に配慮したサービス提供 認知症になっても安心して暮らせる社 会をつくるために

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kiban/shisaku/koureikentou/index.html>



東急電鉄株式会社



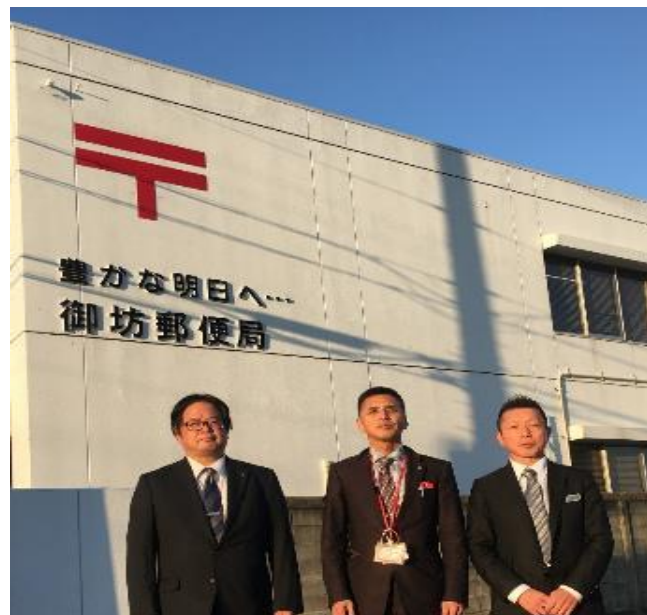
城南信用金庫



移動スーパーとくし丸



スローショッピング



御坊郵便局



働ける介護保険サービス

マンション管理員向けの手引き



目次

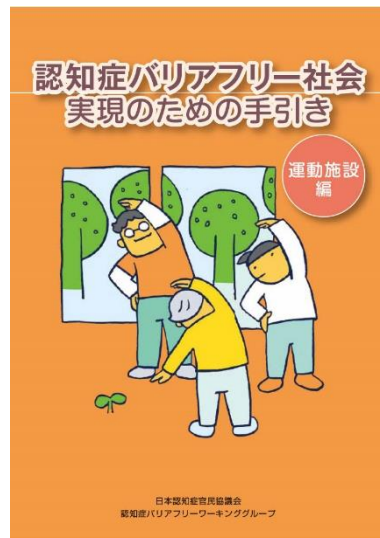
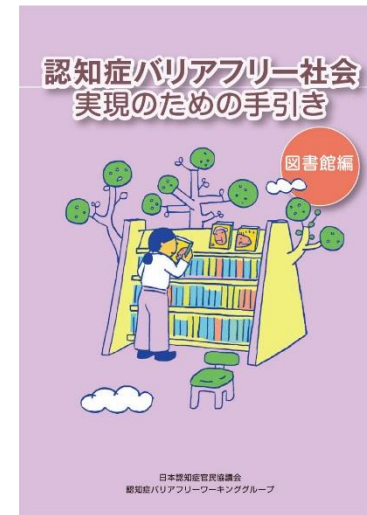
1. マンションと認知症
2. 関係者との連携
デイサービスや訪問介護 / 地域包括支援センター
連携のために必要なこと
3. 管理組合との関係
4. 事例集
ケース① 同じ話を何度も繰り返す
ケース② ゴミ出しの日を間違える
ケース③ 部屋がわからず、うろろする（いわゆる徘徊）
ケース④ オートロックが開錠できない
ケース⑤ 「物がとられた」と妄想を言う
ケース⑥ 共用部分での不潔行為
5. 好事例の紹介
6. 認知症の種類
①アルツハイマー型認知症
②レビー小体型認知症
③前頭側頭型変性症
④血管性認知症
7. 若年性認知症
8. 社内の相談窓口

【認知症マニュアル(管理職用の補足)】

1. ケース(事例)の補足
2. 管理員に認知症が疑われる場合



認知症フレンドリー社会の実現に向けたパートナーシップ形成 日本認知症官民協議会(2019年～)



認知症フレンドリー社会の実現に向けた パートナーシップ形成への動き

- 認知症にやさしい異業種連携協議会（京都府）
<http://www.pref.kyoto.jp/kourei-engou/181210.html>
- 認知症フレンドリーシティプロジェクト（福岡市）
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/dementia/health/00/04/ninchisyounfriendlycity/ninchisyounfriendlycity.html>



認知症にやさしい異業種連携協議会
（京都府）



認知症フレンドリーシティの実現に向けたパートナーシップ
（福岡市）

板橋区認知症フレンドリー協議会 (2023年11月2日)



構成メンバー：民間企業(金融関係, 物流・配達, スーパーマーケット, ライフライン, 住宅, 介護関係, 商店街連合会など), 学術関係(東京都健康長寿医療センター研究所), 当事者(本人, 家族会), 社会福祉協議会, 民生・児童委員, 板橋区

共生社会の実現を推進するための認知症基本法

(2023年成立、2024年施行)

ビジョン (1条)	認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会(=共生社会)
目的 (1条)	認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進する
定義(2条)	アルツハイマー病等の疾患により日常生活に支障が生じる程度にまで認知機能が低下した状況
基本理念 (3条)	「全ての認知症の人が、基本的人権を享有する個人として、自らの意思によって日常生活及び社会生活を営むことができるようにすること」等、7項目
責務 (4条～8条)	国、地方公共団体、保健医療サービス・福祉サービス提供者、日常生活及び社会生活を営む基盤となるサービス提供者(公共交通事業者, 金融機関, 小売業者など)、国民
認知症の日・月(9条)	認知症の日=9月21日、認知症月間=9月
法制上措置等(10条)	法制上・財政上の措置・その他の措置を講じること
基本計画 (11条～13条)	認知症施策推進基本計画(義務)、都道府県認知症施策推進計画(努力義務)、市町村認知症施策推進計画(努力義務)
基本的政策 (14条～25条)	12項目の基本的政策

認知機能の低下とともに生きるすべての国民が、
基本的人権を享有する個人として、
自らの意思によって日常生活や社会生活を営むことができる
社会環境を共創することが、
これからの認知症施策の中核的な課題であろう。

ご清聴ありがとうございました